

平成 28 年度 第 2 回横浜市神奈川公会堂指定管理者選定委員会 会議録	
日 時	平成 28 年 8 月 18 日 (火) 14 時 00 分～16 時 30 分
開催場所	神奈川区役所本館 2 階中会議室
出席者	柳澤委員長、井手委員、加藤委員、草加委員、松本委員 (計 5 名)
欠席者	なし
開催形態	応募団体の面接審査は公開とするが、指定候補者及び次点候補者の選定審議については非公開とする。(傍聴者 2 名)
議 題	1 面接審査 (2 団体) 2 指定候補者選定審議
審議結果	1 面接審査 (2 団体) (1) 神奈川区民協働パートナーズ (2) こらぼネットかながわ・ジャパントータルサービス共同事業体 2 指定候補者選定審議 横浜市神奈川公会堂第 2 期指定管理者の候補者及び次点候補者を、次のとおり選定した。 (1) 指定候補者は、評点 139.80 点 (合計点数 699 点) の「こらぼネットかながわ・ジャパントータルサービス共同事業体」を選定した。 (2) 次点候補者は、評点 126.60 点 (合計点数 633 点) の「神奈川区民協働パートナーズ」を選定した。
委員意見等	1 面接審査 (2 団体) (応募団体ごとの主な質疑応答) (1) 神奈川区民協働パートナーズ (委員) 催事運営コーディネーターの配置とあるが、誰が担うのか。 (団体) 館長、館長補佐、職員を想定している。 (委員) 公会堂運営をユニバーサルデザイン化するとあるが、どういった意図か。 (団体) 人権に関する問題に取り組んでいく。 (委員) 公平・平等な対応とあるが、どのように進めていくのか。 (団体) 区主催の行事により区民が利用できないということがある。予約日を調整する等して、多くの区民が利用できる公平・平等な施設を目指したい。 (委員) 区民協働による公会堂づくりとあるが、どのように進めるのか。また、どのようなメンバーを想定しているか。 (団体) 区民、区文化協会、各種サークルなどへのヒアリングを通じて進めていきたい。 (委員) 自己評価の仕組みを教えてほしい。 (団体) 年 2 回の役員による監査を行う。 (委員) 協働委員会を組織するとあるが、他施設での実績を教えてほしい。 (団体) 他施設では、協働委員会で出た意見を取り入れ、高校生ダンスコンサートや施設の建て替えに伴う閉館・開館記念イベント等を実施した。 (委員) 新たな収入源を予算上、どう見込んでいるか。 (団体) デジタルサイネージ等による広告売上収入を見込んでいる。 (委員) 今回の事業提案にあたって、ヒアリングをしているようだが、誰に行ったのか。 (団体) 神奈川公会堂や他区の公会堂を利用している区文化協会・サークル・関係団体 20 団体にヒアリングした。

- (委員) 個性的な「神奈川区流」の運営とは、どのようなことか。
- (団体) 自治会加入率の高い神奈川区は他区と比較して横のつながりが強いと感じる。こうした、情報共有がしやすい横のつながりを意識した運営ができると考えている。
- (2) こらぼネットかながわ・ジャパントータルサービス 共同事業体
- (委員) ホワイエでのカフェや子供スペースの取組を提案しているが、人通りが多くないので、人が集まらないのではないか。どのように取り組んでいくのか。
- (団体) デジタルサイネージ等での呼び込みで集客できると考えている。神奈川区民の公会堂利用率は46～47%程度だが、こうした取り組みを通じて第2期に5割を達成したいと考えている。ふらりと立ち寄れる公会堂を目指したい。
- (委員) 組織体制について、舞台技術者は誰か。
- (団体) 副館長、常駐職員の計8名がすべて舞台技術者である。
- (委員) 専門学校とのコラボレーションによる結婚式を提案しているが実現するか。
- (団体) 実現可能と考えている。専門学生が公会堂をよく利用するため関係性ができている。
- (委員) 駐車場の夜間利用またはコインパーキング化についてどのように進めるのか。
- (団体) 実現に向けて、市や土地所有者と協議していきたい。
- (委員) 常設のオーケストラを結成することを計画しているとあるが、どのように進めるのか。
- (団体) 現在、公会堂を利用している楽団の常設化を考えている。
- (委員) 会議室をリハーサル室に改修することによる利用者増の見込みを収支にどのように反映しているか。
- (団体) 和室あるいは2号会議室を防音加工し、リハーサル室としても利用できるようにすることで、稼働率を上げたい。会議室・和室としての機能は残す。
- (委員) 法人の利益の状況について、詳細を教えてください。
- (団体) 27年度は利益が出たので、修繕に充てるなど有効に活用していきたい。ただ今後、それほど利益は出ないと考えている。
- (委員) 人件費が予算をオーバーしている分を第2期はどのように埋めていくのか。
- (団体) 効率的な運営を行うことで人件費を削減するとともに、稼働率の向上による利用料金収入や寄付金収入等により収支の均衡を図りたい。
- (委員) 雑収入（コンシェルジュ機能の手数料、駐車場利用収入）の費用対効果が悪いのではないか。
- (団体) どの程度の収入があるか見通しが立たないが、利用者からのニーズを踏まえ様々な増収策を行っていきたい。
- 2 指定候補者選定審議
- (1) 応募団体の財務状況について、財務精査担当委員から説明を行った。
- (2) 各委員から、応募書類及びヒアリングに基づき、審査・講評を行った。
- (3) 選定結果報告書及び会議の議事録については、事務局で作成し、委員長による確認のうえ確定とすることとした。